

# 秋へ…

木津大橋を渡り終え、ふり向くと…。

赤い木の実がたくさん。



これはエノキの実です。

エノキにはある思い出があります。

お世話になった先輩の先生と、京都府立植物園を訪れた時のこと。園内を散策しながら、その先生に、身近な植物についていろいろと教えていただきました。季節は秋の初め。エノキにはたくさん実がなっていました。

この時、戦後の物資が乏しかった時代に、エノキやムクノキの実を食べておやつの代わりにしていたという話をその先輩の先生からうかがい、二人してエノキの実をかじってみたのです。ほんのりと甘味を感じたものの、とても美味しいと言えるようなものではありませんでした。ですが、今のようなお菓子が手に入らない時代には、きっと美味しいと感じたに違いありません。

もちろん、木津大橋のエノキは、自動車の排気ガスに汚染され、さらに、薬で消毒もされているでしょうから、口にすることはできないでしょう。小鳥たちもあまり食べていないようで、餌の乏しい冬場でも干からびた実がかなり残っているようです。

ところで、エノキはオオムラサキの食草として知られています。都会のど真ん中でオオムラサキは難しいでしょうが、ゴマダラチョウがいつかやってきて卵を産み、繁殖するのではと、密かに期待しています。

学校の前の通りのイチョウ並木では…。



これはギンナンでは  
ありませんか。

ギンナンといえば秋の味覚。もうこんなに成っています。

校庭では…。



イソヒヨドリです。

今年は本田小学校の近くで繁殖していたようです。

最近、2羽一緒にさえずりながら校庭や周辺のビルの間を飛び回っています。

夏の間に成長し、巣立った若鳥でしょうか。

4年生の学習園のヘチマもすっかり緑色から茶色になっています。



中にはぎっしりと種子が詰まっていることでしょう。



フウセンカズラの実も茶色に。



アサガオの実の中に種子が見えます。



力キの実も大きくな  
りました。

庭に植えられる力キの木の多くは、柿渋を取るために渋柿だったそうですが、こうした果実が実ってくると秋を感じますね。



真っ青な空に秋の雲。

空の高いところはすっかり秋です。

早く涼しくなるといいなあ…。